



全国自治団体労働組合連合

ふりーじあ 第6号
発行日：平成25年6月
自治労連教宣部発行

本部 〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 北区役所B1 全連協事務所内 (03)3907-5177



【大会の挨拶をする岸川秀樹中央執行委員長】

5月10日「熊本市交通センターホテル」(熊本
市中央区)において、北海道から沖縄まで、全
国の各単組から約100名が参加のもと、「全
国自治団体労働組合連合(自治労連)第44回
定期大会」が開催されました。

厳しい時代だからこそ行動を起こすことが大事

第44回 自治労連定期大会が 熊本市中央区で開催されました

岸川中央執行委員長の挨拶で始まった定期
大会は、来賓に公務公共サービス労働組合協
議会(公務労協)の藤川伸治副事務局長、政策
研究フォーラム(政研フォーラム)の徳田孝蔵専
務理事、国土交通省職員組合の加藤順一委員
長、熊本県友愛連絡会の古庄英次会長、民主
党松野信夫参議院議員、熊本市高田晋副市長
を招き、「挨拶を頂戴したのち、活発な質疑応
答により組織内の理解を深め、すべての議案が
満場一致で可決・承認されました。

岸川委員長は挨拶の中で、公務員制度改革
関連法案が、昨年末の政権交代により廃案に
なってしまったことなどについて、民主党の結果
責任が問われるべきであり、政権を担う立場と
して最後まで取組んだのかどうか疑問である。
しかしながら、廃案となった関連四法案の起
点となる国家公務員制度改革基本法が自公政権
において提案成立させた法律であることを想起
し、取り組みを再構築していかねばならない
という見解を示しました。

また、自民党選挙公約では公務員総人件費
2兆円削減、安倍政権の国家公務員の給与に
準じた地方公務員給与の平均7.8%削減要
請など、新政権による我々に対する様々な「強
制」に対して、自治労連は、中央地方それぞれ
において取り組みを強化しなくてはならないと
強く訴えました。

「これまでも自治労連は、公務員連絡会地方公
務員部会の一員として、総務省公務員部長交
渉の実施、2月よりみなさまにご協力いただき

全国で取組んだ大型はがき署名行動、地方公
務員賃金引下げ強制反対中央決起集会での、
関谷副中央執行委員長の自治労連を代表して
力強い決意表明など、中央段階での取組みも
行ってきました。

そして、厳しい時代だから何もしない、現状維
持のまま良いのではなく、その現状を見据えな
がら、このような時代だからこそ、真に何が必要
なのか、何をしなければいけないのかを真剣に
考え行動を起こすことが大事だと主張しまし
た。

依然として、地方公務員を取り巻く状況は
大変厳しい状況にあります。自治労連と致
しまして、政権が変わるうと自治労連の信念
はブレることなく、これまでの「自由にして民主
的な労働運動」をさらに継承し、地域住民に理
解される質の高い公務公共サービスの確立を目
指して、職場環境や労働条件の維持・向上に向
けて全力で取り組むことを約束しました。

そのためには、上部組織である、連合、公務労
協、政策研究フォーラムの活動と連携を図り、
我々、自治労連としましては、基本理念であり
ます「自由にして民主的な労働運動」を継承し
ながら、日本の社会の民主的な発展、労働者の
生活や権利の改善を通じて、社会正義、公正
を追求する活動を中心に進め、運動を展開し
てまいりたいという考えを示しました。

最後に、私たち自治体職員が安心して働ける
職場作りに向け、さらなる活動を進めていく考
えを示し、これまで以上のご理解とご協力と、
来賓の皆様方のお力添えをいただきますよう
お願い申し上げます。

また、自らの運動方針実現に向けて、ともに
汗を流し、粘り強く頑張っていくことが最も重
要であり、そのために、組合員の皆さまの更なる
ご支援と協力をいただきますよう改めてお願
い申し上げます。大会の挨拶を終えました。



われわれ公務員組合にとって、苦しい時代を共に頑張ってきた仲間たち。
柏田氏は、イジられ役の愛嬌のあるキャラクターで親しまれました。神杉
氏は、冷静な判断力と何事にも動じない精神力で自治労連を支え続けまし
た。佐古氏は、みんなから信頼さ
れ愛される、親分のような存在で
した。石川氏は、ユース活動の柱
として、今のユース部を作り上げま
した。島川氏は、東北魂で何事にも
粘り強く頑張ってくれました。澤
重氏は「大ちゃん」の愛称で親しま
れ、執行部のムードメーカーでし
た。黒木氏は、何事にも真剣に取
組み、いつもしっかりとした信念の
ある発言をしてくれました。福田
氏は、執行委員会で貴重な意見を
たくさん発言してくれました。ま
た、選管委員長としても大変なご
苦勞をされました。岸川氏は、今
の自治労連を築き上げた誰もが認
める功労者で、自治労連の歴史に
自らの名前を刻みました。
みなさん本当にお疲れ様でした。
そして、ありがとうございました。

《退任された方のご紹介》 ※写真右から

柏田 高宏 (日向市役所職員組合) 書記次長2年
神杉 朋史 (周南市役所職員組合) 書記次長4年
(2003~2006執行委員4年)
岸川 秀樹 (大村市職員組合) 中央執行委員長2年
顧問2年 書記長4年
佐古 清治 (周南地区衛生施設組合職員労働組合) 執行委員6年
石川 貴士 (荒尾市役所新職員組合) 執行委員4年
島川 達哉 (東北町職員組合) 執行委員2年
澤重 祐大 (周南市役所職員組合) 執行委員4年 ※大会欠席
黒木 幸司 (日向市役所職員組合) 執行委員4年 ※大会欠席
福田 幸弘 (熊本市役所第一職員労働組合) 執行委員2年
※監事就任

2013~2014年度 役員体制

役職名	氏名	出身単組名
中央執行委員長	濱村 真光	荒尾市役所新職員組合
副中央執行委員長	関谷 明治	全北区職員連絡協議会
〃	兼武 道雄	熊本市役所第一職員労働組合
〃	山田 充哉	大村市職員組合
書記長	松葉 洋之	えびの市役所職員組合
書記次長	藤本 俊毅	周南市役所職員組合
〃	牧野 孝哉	下関市職員組合
〃	田爪 正常	西都市役所職員組合
執行委員	唐田 雅伸	熊本市役所第一職員労働組合
〃	大前 和紀	玉野市役所職員組合
〃	大野 昌彦	東北町職員組合
〃	樫部 智哉	周南市役所職員組合
〃	小賀 進	下関市職員組合
〃	金原 剛蔵	大村市職員組合
〃	西 卓也	荒尾市役所新職員組合
〃	伊波 誠	うるま市役所労働組合
〃	黒木 康文	日向市役所職員組合
〃	長友 優裕	西都市役所職員組合
〃	湯田 正樹	えびの市役所職員組合
〃	来間 正雄	宮古島市職員労働組合
〃	仲間 典登	石垣市職員労働組合
〃	鈴木 康博	長洲町職員組合
監事	富嶋 憲一	熊本市社会福祉協議会職員労組
〃	福田 幸弘	熊本市役所第一職員労働組合

新中央執行委員長の紹介

自治労連中央執行委員長

はまむら まさみつ
濱村 真光 (40)



今回の執行部体制において、各単組からの声に耳を傾けながら
住民目線を第一に考え、自由にして民主的な労働運動のもと邁進
してまいりますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。

- 【出身単組】 荒尾市役所新職員組合
- 【趣味】 ゴルフ、組合活動

自治労連執行委員を4年務めたのち、書記長2年、副中央
執行委員長を2年経験し、中央執行委員長に就任。
出身の荒尾市役所新職員組合では執行委員長。

～ 熊本大会を終えて ～

第44回定期大会の準備、運営を行っていただきました、兼武委員
長を始めとする熊本市役所第一職員労働組合の皆様方、大変お世
話になりました。

今年度も定期大会で決定した運動方針に沿った、自治労連らしい
労働運動を展開してまいりますので、組合員の皆様方、よろしくご支援
をお願いいたします。

編集後記 熊本といえば、阿蘇山、熊本城、馬刺し、からし蓮根、などなど。
しかし今は何と言っても全国ゆるキャラグランプリの「くまモン」で
しょう。「くまモン」とは、熊本弁で「熊本の人」を意味する「熊本
者(くまもともん)」から名づけられたようですが、なぜ、ここまで人気
が出たのでしょうか？それは、熊本県が国民に「熊本を好きになってもらいた
い」という観点から、申請さえすれば関連グッズを使用料なしで販売でき
るようにしたということが大きな要因ではないでしょうか。

組合員や住民の目線を第一に考え、権利ばかりを主張しない「民主的な労働
運動」を展開する、私たち「自治労連」に似ていますね。今年の定期大会
では「自治労連らしさ」が強調されましたが、今後さらに具体化、明確化し
て、誰もが「自治労連らしさ」を感じ取れるようになりたいですね。

【新体制の執行部より一言】「おっどんもくまモンには負けられんバイ！！」

来賓の方々からのご挨拶



《公務労協・藤川伸二副事務局長》
国家公務員の給与減額に習い、地方公務員給与も7月から平均7.8%給与引き下げという当局からの提案、交渉が始まっている。今回の措置は、地方の固有の財産である地方交付税の減額によるものであるが、地方自治の根幹を揺るがすものである。また、今回の措置が来年度以降続かないという保証はない。労働組合として自分たちの力で賃金労働条件を決めていくという道筋をしっかり作り上げ、公務労協と共に力を合わせて頑張りましょう。



《政策研究フォーラム・徳田孝蔵専務理事》
みなさんの労働基本権の問題は、民間の労働組合にも大きな影響を与える。労働条件その他については労使協議により決定するものであるため、とりわけ政府の関与は排除しなければならない。連合として、基本政策をしっかりとめなければ、民主党も右往左往ばかりだと思ふ。そのため、連合として、憲法、外交、安全保障、エネルギーなどの問題について、しっかり政策を出していただきたい。政研フォーラムとしてもそのために頑張ります。



《熊本県友愛連絡会・古庄英次会長》
友愛としてお互いを思いやる心を大事にしながら、世界に誇れるような互助の精神を大切に、何のために自分はここに居るのか、地域住民の方々へのニーズは何なのか、そこに自分たちが公務として属する以上、何をすべきなのか、かゆいところが手がかかるようであれば、何なのかという点を議論され、今後皆様の生活の安定、向上に結び付けていくならば、友愛の精神に合致するものではないかと考えます。苦勞は多いかと思いますが、共に頑張りましょう。



《熊本市・高田晋副市長》
全国から多数の自治体職員の方々にお集まりいただき、自治労連第44回定期大会が、この熊本市で盛大に開催されますをお喜び申し上げますとともに、皆様方のお越しを熊本市民を代表しまして心より歓迎申し上げます。市民に直接接する皆様、様々な課題について議論することは市政運営上、有意義なこととさせていただきます。今後とも皆様と協力しながら市民に信頼される市役所を実現させて参りたいと思っております。これからもよろしくお願いたします。



《民主党・松野信夫参議院議員》
公務員バッシングがまだまだ続いている状況ですが、私は地方公務員の皆様、一生懸命働いている、また、素晴らしい公共サービスを提供していると思っています。にもかかわらず、とにかく給与を引き下げると一方的に国が要請している。給与を減額せずに、消費を増やさない限りは、景気は回復しない、そのことをきちり国に訴えて参ります。これからは、しっかりと皆さんの声を国会に届けられるよう頑張りますので、ご協力よろしくお願いたします。

【2012取り組み経過報告】

2012取り組み経過報告より、専門部の取り組み経過を抜粋して報告します。

【組織部】

《組織部 組織部長・濱村真光》
さまざまな案件の中、一昨年新規加盟しました長洲町職員組合に対し、当局に対する要求書の提出から要求に対する回答書における団体交渉の手順等、職員組合としての交渉術をアドバイスしました。他にも自治労連として各単組に「新規採用職員組合獲得状況調査」を行い、情報を共有するなど、組織強化への取り組みを行いました。

【教宣部】

《教宣部 教宣部長・神形彰史》
重要な交渉事項が続出したこともあり、また、専従役員がいない中央組織において、ふりーじあの発行や、教育面での活動が、時間的に困難でありましたが、重要かつ必要と判断された自治労連における教育・宣伝活動の基本構想(案)をまとめました。次期担当に引き継ぎ、新役員体制の中で発展させていくことを期待しています。

【業務対策部】

《業務対策部 業務対策部長・兼武雄雄》
各単組における当局に対する「要求書」を取りまとめ配布しました。人動期においては、現給保障の廃止や退職手当調整率の改定などについて各単組の交渉経過を調査し、情報提供しました。今後も情報共有ツールやホームページ等を活用し、さらなる情報共有化及び有効活用を努めます。

【ユース対策部】

《ユース対策部 ユース対策部長・柏田高宏》
若い組合員層の確保と育成のため、教育活動に力を入れるとともに、ユース世代組合員の全国的なネットワークの構築を活動の柱として取り組まれました。沖縄県国頭郡で開催したユース世代単組間交流会では、「マスコミ」が報道しない沖縄の真実の講演、福岡市で開催したユース部全国代表者会議では友愛の歴史を学んだり、連合が結成されるまでの経緯、同盟や総評の思想や信念の違いについて学び、自治労連の精神を次世代に継承していくことを意識した活動をして参りました。

【議事】

- ・第1号議案 2013年度 運動方針(案)について
- ・第2号議案 2013年度 一般会計予算案(案)について
- ・第3号議案 2013年度 組合基金特別会計予算案(案)について
- ・第4号議案 役員選出について

【運動の基調】

【一部抜粋】
自治労連相互の信頼と絆をさらに強める中で、自治労連運動の根幹を成すものを常に見つめなおし、先人が気づき上げてきた運動や理念を大切にしながら、時代の変化を見据え、勇気と誇りを持って新たな運動へ向けての改革の実践にあたります。われわれ自治労連は、運動を推進する上で、一元的・教条的思想を否定するとともに、組合民主主義の徹底、人間性が尊重される福祉社会の建設、国際平和の推進などの目標を、友愛と信義の精神で実現しようとする力を発揮して参ります。

【運動の具体的課題と進め方】

- (1) 総人件費削減政策の転換を求め雇用と生活を確保する取組み
- (2) 労働基本権の確立と公務員給与の社会的合意を再構築する取組み
- (3) 賃金及び労働諸条件改善の取組み
- (4) 勤務時間など労働諸条件改善の取組み
- (5) 女性の労働権確立、男女平等の公務職場作りに向けた取組み
- (6) 非常勤職員等の雇用と労働条件確保の取組み

【2013春季生活闘争の基本的課題と考え方】

- (1) 連合に結集し、すべての働く者のデューサーワーク実現を求め取組み
- (2) 総人件費削減政策の転換を求め取組み
- (3) 賃金水準の維持・改善と、公務員賃金の社会的合意を再構築する取組み
- (4) 雇用と年金の接続、非常勤職員の均等処遇など労働諸条件を改善する取組み

【組織の在り方強化について】

【一部抜粋】
単組間における情報の共有化、組合員の交流、教育活動やユース部活動の充実を図り、現在の自治労連運動の継承と発展、拡大のために、若い組合員層の確保と育成、意見集約がきわめて重要な要素と考えます。組織内でユース世代が活躍する場づくりや各種支援策を検討し、若者の新たな発想や手法等を積極的に組織活性化につなげていくための取組みを展開します。自治労連が構成組織のみならず、これまで以上に官公労働運動全体に果たす使命・役割を真摯に議論し、公務員バッシングの中においても、毅然として常に「自由にして民主的な労働運動」を推進し、組織の強化に取り組みます。

第4号議案の任期満了に伴う新役員選出については、福田幸弘役員選考委員長より提案された新たな役員体制が承認され、新中央執行委員長に濱村真光氏、荒尾市役所新職員組合が就任し、新執行部体制がスタートしました。(4ページ参照)



【議長団を務められた井手さん(右)と下田さん(左)】



【予算案を提案する牧野孝哉書記次長】



【運動方針案を提案する松葉洋之書記長】



【新執行部体制】

今大会で議長団を務められた井手さんと東北町職員組合の下田さん、大変お疲れ様でした。

自治労連第44回定期大会交流会



【挨拶をする濱村真光中央執行委員長】



【山田新副中央執行委員長による乾杯】



【挨拶をする国交職組・加藤執行委員長】

夕方から同ホテルで行われた交流会は、新中央執行委員長に就任した濱村委員長が今後の抱負を述べ、大会に引き続き参加していただいた来賓の皆様を代表し、国土交通省職員組合加藤順一委員長、熊本市議会藤山英美議員よりご挨拶をいただきました。
加藤委員長は、すでに2年目となっている国家公務員給与平均7.8%削減の話に触れ、地方公務員の頑張りがあれば、この2年という約束も延長する可能性がある。ぜひとも自治労連の皆様には、この総務省からの要請に対し、また、これから始まる当局からの提案に対し、粘り強く交渉していただき、国家公務員給与と臨時特例法案の期限が延長されることのないように、我々国家公務員給与と臨時特例法案の期限が延長されたいと述べました。また、藤山市議は、自らが職員だったからこそ皆様の苦しみがかかる。ともに頑張りましょうと力強く述べられました。
その後、山田新副委員長の乾杯の音頭で交流会が幕を開け、地元の熊本料理を堪能しながら、旧執行委員が一言ずつ挨拶を述べた中、岸川前委員長が、関わってきた8年間を振り返りながら、思い出話に言葉を詰まらせ、会場がもらい泣きをする場面もありましたが、その後の自治労連恒例「しつこくて長い単組紹介」では、それぞれの単組での取り組みを話しながらも、笑いを取る単組、すべりまくる単組など、各単組がそれぞれの個性を出し、涙あり笑いありの自治労連らしい交流会となりました。
最後に兼武副委員長が、地元熊本市役所第一職員労働組合の委員長として、熊本大会に参加していただいた方々に対するお礼を述べたのち、岸川前委員長と濱村新委員長に、応援団長式のツールを贈り、大盛り上がりの中に第44回定期大会交流会を締めくくりました。



【エールを贈る兼武副中央執行委員長】



【挨拶をする藤山英美熊本市議会議員】